

## 会議結果の公表

附属機関等の名称	沖縄県歴代宝案編集委員会
日 時	平成28年(2016)11月11日(金)13:00~17:00
場 所	沖縄県公文書館 会議室
出席委員名	赤嶺守・生田滋・井上秀雄・上里賢一・金城正篤・高良倉吉・都築晶子・豊見山和行・西里喜行・濱下武志・夫馬進
議題及び報告事項	<p>1 審議事項            (1)歴代宝案編集基本計画(第三次刊行計画)の答申案について            (2)校訂本・訳注本の進捗状況と問題点</p> <p>2 報告事項            (1)国外史料・史跡調査(台湾)            (2)国外史料・史跡調査(重慶・福建)            (3)今年度予定刊行物</p> <p>3 中国第一歴史档案館参考人報告&lt;交流事業&gt;            ①劉毓興(中国第一歴史档案館 保管処副処長)            「中琉関係に影響を与えた核心理念「仁義」について—清琉関係を例に」            ②王 徴(中国第一歴史档案館 編研処副処長)            「清代琉球使節の入京途中の遅延についての一考察」</p>
議事の概要	<p>1 審議事項            (1)歴代宝案編集基本計画(第三次刊行計画)の答申案について            教育委員会諮問第4号をうけて、「歴代宝案編集基本計画」(第三次刊行計画)について、これまで検討を重ねてきた結果作成された答申案を、編集委員会の答申とすることに満場一致で了承を得た。            (2)校訂本・訳注本の進捗状況と問題点            校訂本・訳注本の進捗状況を報告。訳注本の読み下しの問題点(咨覆施行など)について、これまでの検討の結果及び県外委員の意見を確認し、編集委員会として情報の共有を図り、今後訳注本の問題点については継続して検討することとなった。</p> <p>2 報告事項            (1)国外史料・史跡調査(台湾):審議資料の通り報告。            (2)国外史料・史跡調査(重慶・福建):審議資料の通り報告。            (3)今年度予定刊行物:審議資料の通り報告。</p> <p>3 中国第一歴史档案館参考人報告&lt;交流事業&gt;            参考人2名(劉毓興・王 徴)の報告            ・劉氏の報告は中琉関係の中心となる理念として「仁義」をあげ、それが中国と琉球との交流のなかでどのようにあらわれているのかについて考察したもの、王氏の報告は琉球使節が北京に赴く途中で遅延した場合についての考察で、両氏の報告は、档案館が所蔵する清朝档案を用いて、いずれも中国と琉球の交流史及び「歴代宝案」訳注本の編集作業の進展に役立つ有意義なものであった。</p>
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
所管課等	教育庁文化財課
問い合わせ先	史料編集班 電話 098-888-3939
備 考	